



# 私たちの 町議会びらとり



はな  
作：Hana 氏  
荷菜在住  
（「忘れ咲き」 アクリル画 ）

|             |     |
|-------------|-----|
| ここが聞きたい一般質問 | P 2 |
| 委員会報告       | P 3 |
| 教育行政報告      | P 6 |
| 審議した議案      | P 7 |
| あの人に聞く      | P 8 |
| 議会の仕組み      | P 8 |

**vol.120 2024.8.9**

# ここが聞きたい 一般質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約し、作成しております。  
質疑応答の全文は平取町ホームページの平取町議会会議録を  
ご覧下さい。

まつざわ いくこ  
**松澤 以久子 議員**

## 災害時等長期停電に

## おける在宅人工呼吸療法 等を行っている方への 支援について

時における各医療機関への受け入れ、平時からの準備について、正式に依頼されています。在宅酸素療法等の患者様には、災害時などの長時間停電時は病院に避難していただき、安心して治療や診療を受けることができる体制を整えていきます。

はなっていないません。自動反映には難しい課題がありますが、関係課と協議し、名簿登載の検討はしたいと思っています。

## 防災対策について

**問** 災害に備えるためには、町民が防災に対する意識を自覚的に高めていかなければならないと思います。防災計画は見直されていますが、平取町地域防災ガイドマップを絡めた啓発事業を、どのような方向性で進めているのか。

**答** (まちづくり課長)

防災計画は毎年見直しを行い、防災ガイドマップについてもデジタルデータは常に最新情報に更新していきます。啓発事業に関しては、主催事業としてシエイクアウト(身を守る安全行動)訓練と、地域防災セミナーを毎年開いています。

**問** 町も大きな災害から相当年数が経過しています。町民の生命・財産を守るのは町の責任です。災害に対して、町民も職員も危機管理意識が薄れています。防災意識を高めるため、町はどのような対策を考えて

しのへ まさひこ  
**四戸 正彦 議員**

**問** 居宅において、在宅酸素療法や人工呼吸器を使用している患者にとって、電力供給の停止がそのまま生命の危険に直結する恐れがあるため、災害時の電源確保は重要な問題です。そのため、自宅で療養している方に考慮した事業を進めてはいかがでしょうか。

**答** (病院事務長)

町内における対象患者数は、在宅人工呼吸器患者数は0名、在宅酸素療法患者数は6名となっております。平成30年の胆振東部地震の際に、在宅酸素療法等をしている方の電源確保ができなかったことから、震災後に静内保健所より、対象患者の災害



在宅酸素療法に使われる酸素濃縮器(空気を吸気し、高濃度の酸素を排気する機器)

**問** 日頃から対象者の情報を把握しておく、災害時に、どのような対応が必要かが分かります。現在平取町では、対象者の把握と、災害時の要援護者リストの作成はどのようになっているのか伺います。

**答** (まちづくり課長)

避難行動要支援者名簿は現在、在宅酸素の方が反映されるシステムに

いるのか。職員に対してどのような指導をされているのか。

**答** (まちづくり課長)

災害に関しての啓発事業をしっかりとやる事が大切だと思います。今年度は振興局と協力して、防災訓練等の実施について協議を進めています。自主防災組織として自治会の働きが弱いところは、災害に対する重要性を考えて、しっかりと取り組みを進めていきます。職員に対しての初動マニュアルについては、毎年6月に職員全体に諮って、共有する作業をしています。

**問** ※統合型GISシステムは、役場内では機能されていると思います。災害時や緊急時に社会福祉協議会や平取福祉会、自治会などと連携して、機能できるように進められているのか。

**答** (まちづくり課長)

消防、警察、社協、民生児童委員、さらには自治会といった自主防災組織、その他町長が認める機関として自衛隊と協定を結んでいます。このシステムデータを高めていく作業は、自主防災組織とまだまだ協議しているかと思われます。

**問** 町内には土砂災害警戒区域が44箇所ほどあります。そのうち特別警戒区域が17箇所あると思いますが、現在どのように整備が進められているのか。

**答** (まちづくり課長)

土砂災害警戒区域については、道府県が基礎調査して指定していく形になっています。危険と思われる箇所は町としても必要に応じて整備を要望していきます。



▷令和4年8月豪雨による被災した町道豊糠糠平線

※役場の複数部署が持つデータを横断的に整理し、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)に総合的に落とし込む加工をし、視覚的に表示するシステム。

## 総務文教・産業厚生 合同常任委員会

5月16日開催

◆平取高校の魅力化について

現在の平取高校の生徒の状況と今年の入学者については、全校生徒31名、本年度入学者は男子3名、女子3名(内訳:町内2名、道内1名、道外3名)の計6名でした。2年連続で入学者が10名を下まわると募集停止となることから、平取高校の魅力を発信し入学者を確保していくための取組内容を協議しました。

**Q** 道教委として、平取高校にどのようなサポートをしていただけなのか。(千葉)

**A** 道教委主催で札幌市の中学生を中心に対面合同説明会等を行っていただくなど、存続に向けて協力いただいています。(まちづくり課)

**Q** アイヌ政策推進総合交付金を活用して国際交流事業としてハワイへ行く計画だが、現地の学生との交流時に披露できるよう、アイヌ文化の習得にも取り組んでいただけない。(木村)

**A** 夏休み中に可能な限り研修を行い、披露できるようにしたい。来年度からはアイヌ文化に関する授業を年間35時間やるので、教育課程の進め方によって知識も増えると思います。(教育長)

**Q** 平取高校の存続について平取カントリー倶楽部が全面的に協力すると言われています。部活動にゴルフを取り入れてはどうでしょうか。(四戸)

**A** アイヌ文化、大学連携、海外研修、ゴルフと色々な素材を揃えてコマージュして、1人でも多く生徒を集めることについて、まちづくり課と相談しながら具体的にやっていきます。(教育長)

このほかにも次のような意見がありました。  
・子ども達が平取高校に入りたいという魅力と無駄のない投資を。

(松澤)  
・もう1人のハウスマスターの目途は立っているのか。現在、まちづくり課等の職員が行っているようだが、オーバーワークにならないよう配慮を。(崎廣)

・積極的に三者面談を行い、平取高校卒業後の進路、就職の道筋をつけることが大事。  
(金谷)

(町長) たくさんのご意見をいただき、私としても道議会等にも存続と財源的サポートも含め要望していきます。高校存続に向けて努力します。



△平取高等学校男子寮（山岸邸）



△平取高等学校

## 総務文教常任委員会

6月30日開催

◆地域おこし協力隊のインターン制度について

地域おこし協力隊制度のうち、住所を移さずに2週間から3か月体験できる「インターン」は、当初予算により農業支援員等で既に男性1名、女性1名の計2名が着任予定であり、公住の空き家等を利用しながら活動する予定です。問い合わせが多く、大学生も利用できることから、今後も夏季休暇時期を中心に利用が増えることが見込まれるので、更に3人分の参加活動費予算を追加補正したい考えです。ファームステイのような形式を想定しており、受け入れ側の手数料等を追加します。合わせて、地域おこし協力隊募集のための有料サイトの利用経費を計上します。

Q 地域おこし協力隊を含め、町内での滞在場所の確保が課題です。固定的な宿泊設備を含め考えていく必要があると思いますがいかがか。

(千葉)

A 町に来ていただく条件としては住む環境は重要であり、早く進めるべき課題と捉えています。今構想があるセミナーハウスも含め、民間

の力も借りながら、検討をして参ります。  
(町長)

Q 町では北海道大学農学部と連携協定を結び、ファームステイを行っています。インターン制度を活用することはできますか。

(金谷)

A 可能です。  
(まちづくり課)

Q 町内では各産業で働き手不足の状況にありますが、地域おこし協力隊はダブルワークは可能ですか。

(金谷)

A 地域おこし協力隊は副業が可能ですので、余力があればほかに仕事を行うことが可能です。総務省が令和8年度までに現役隊員1万人を目指している背景には、過疎地域を中心とした人手不足があります。  
(まちづくり課)

◆道南バスの路線運休について

運転手の退職が重なったため、6月15日から日高ターミナル発富川高

校行き7時20分の便を運休するとの通知が道南バスよりありましたので、情報共有します。

Q この便の利用者はどの程度で、通学等に支障はないのか。また、契約条項の中で減便の際の通知と、実施は何日後という取り決めはないのか。加えて町からの補助金の清算はどうなるのか。  
(崎廣)

A この便の平均利用者は3名です。また、通学時間以後の便ですので、影響は少ないものと判断しています。契約条項にはそのような文面はありません。補助金については減額になると考えます。  
(まちづくり課)

◆町税の不納欠損処分について

令和5年度については、地方税法第15条の7第4項（生活保護による執行停止を受けてから3年経過）に該当するものが4件8万9000円、第5項（廃業、処分財産無、代納者無）に該当するものが1件5万円、合計13万9000円を欠損処分したとの報告がありました。

## 産業厚生常任委員会

## 4月9日現地調査

平取福祉会に出向き、運営状況の聞き取り、意見交換及び各施設状況の調査を行いました。



△障害者支援施設すずらんでの意見交換の様子

## 6月5日開催

## ◆平取福祉会に対する支援について

令和5年3月にかつら園で発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターにより、4月・5月において利用者の受け入れを制限し、収束後もショートステイ、デイサービスの利用を制限したことによる収入減と、ここののホームふれないの収支不足額の一部を助成し、合わせて841万円を平取福祉会に補助したと考えております。

**Q** 町の財政的推移も眺め、長期的に考え負担しては。 (木村)

**A** 町としても、長期的な視点で、どのぐらいの負担が適当かを含め、今後支援をする体制を作っていくだいたいと思っています。 (町長)

**Q** ここののホームふれないの改修等の考えは。 (中川)

**A** 大規模改修等は、国の補助金を活用して実施していきたいと考えています。 (保健福祉課)

◆みどりの食料システム戦略推進交付金のうち有機転換推進事業の取組について

新たに有機農業へ転換等を実施する農業者に対して、3年以上継続して生産するために、必要な経費分として実施面積に応じて初年度のみ支援する事業となっています。

**Q** 事業を実施するにあたり、近隣の了承を得る必要があるのでは。 (菅野)

**A** 指定された農薬を使いながら肥培管理等を行っていくので、周り

に影響はないかと思えます。 (産業課)

◆びらとり二次交通実証運行事業について

平取町と千歳市を結ぶ移動の実証運行という内容で、地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクトを支援する事業となっています。

**Q** 実施期間は9月中旬から11月上旬の予定だが、来年度に向けての考えは。 (四戸)

**A** 公共交通業務を所管するまちづくり課と連携し、町民の利便性が良い形で調整をさせていただきたいと思えます。 (観光商工課)

◆日高山脈襟裳国定公園の国立公園化のPRについて

間もなく日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生するというところで、公共施設や事業所、また登山の関係施設において、国立公園化の機運の向上と、PRを実施するための経費として、89万1千円の補正予算を計上する予定です。

**Q** PRグッズのクリアファイルやキーホルダーを活用するよりも、派手な大きい看板を設置する方が、多くの方に向けたPRになるのでは。 (松澤)

**A** 今回の補正予算では大きな看板設置を計上していませんが、効果的だと思いますので、今後の対応で実施を検討します。 (商工観光課)



▷国立公園化PR懸垂幕(役場)

◆びらとり温泉ゆから『ふれあい館』について

指定管理者から自社の費用負担で、ゆから従業員が宿舍として使用できるよう、ふれあい館の改装整備を実施したいと申し出があり、検討結果について提示されました。

**Q** 以前は貸し出しを行っていたはずだが、現状はどのようになっているのか。 (松澤)

**A** コロナ禍の影響もあり、貸し出し、利用料の徴収は数年間ない状況です。 (観光商工課)

## アイヌ総合政策 推進特別委員会

6月18日開催

◆アイヌ共用林野設定契約について

町内の国有林内でアイヌ文化の保存、継承または振興に必要な林産物採取するため、法に基づき日高北部森林管理署と町が契約を結ぶ予定です。あらかじめ採取する林産物の種類、数量及び採取方法を定めています。

Q 森林管理署の職員が代わると、契約締結時の取り決めが引き継がれないことがあるが。(木村)

A その懸念については署とも協議をしており、そういうことがないように書類を残し後任に引き継ぐと聞いています。

(アイヌ施策推進課)

◆本町河道掘削工事に伴うイオル水辺空間整備等について

新平取大橋右岸上流及び下流左岸で行われる河道掘削工事に合わせて、ガマヤヨシといった有用植物が生育できるように基盤整備が行われることが予定されており、文化伝承

活動に必要な自然素材の育成の場が拡大されます。



△アイヌ共用林野設定契約締結式

## 教育行政報告

《第3回定例会》

(6月26日開催)

令和6年度の在校状況は小学校215名、中学校115名の合計330名となっています。新たな教職員体制で児童生徒、保護者、地域とも積極的に信頼関係の構築に努め、各学校の指導体制は築かれています。

町単独採用で教員・支援員14名を配置しています。今年度は更にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを各1名採用しており、具体的な支援方法など、専門的知

見から学校や保護者にアドバイスしています。

全国学力・学習状況調査が実施され、小6と中3が参加、また、町独自で標準学力調査を行い、小2と小5、中1と中2が受けており、その結果をもとに課題等の分析に役立っています。

体育祭や運動会、修学旅行といった各学校の教育活動については、コロナ禍以前の状況に戻り、充実した学校生活を送ることができるようになり、活気づいています。

社会教育・社会体育事業や図書館、博物館、歴史館についても例年同様の事業展開を行っています。

「マンロー先生を偲ぶ会」が20回行われたことを記念して、ご子孫のアイリーン・マンロー氏をドイツからお迎えして開催し、盛会となりました。

振内中学校では4月から1・2年生が複式学級となりましたが、授業はこれまで同様、学年ごとに実施されています。体育祭等の行事は、教員数が減ったため、保護者や地域の協力によって実施されています。昨年7月からは「これからの学校を考

える会」を組織し、多くの方々の意見や考えを聞く機会を持っています。2と4月には「振内中学校のこれからをどのように考えるか」の記述式アンケートを保護者・地域住民を対象に実施しており、今後、アンケート結果や複式学級を経験した生徒や保護者、地域住民からの感想等を聞き取り、今年度中に方向性を示せるよう考えています。

文部科学省、道教委から令和7年度までに休日の部活動から段階的に地域移行する方針が提示されており、検討委員会を組織し協議を進めています。合わせて近隣町とも協議・協力しながら準備を進めていきます。



△マンロー先生を偲ぶ会

## 審議した議案

第3回  
定例会令和6年  
6月26日

## ▼人権擁護委員の推薦

福澤早苗氏（振内町）を答申しました。

## ▼固定資産評価審査委員の選任

伊東健一氏（貫気別）の選任に同意しました。

## ▼条例の一部改正

びらとり温泉の設置及び管理に関する条例

## ▼財産の取得

スクールバス（貫気別地区から平取中学校への通学）の更新による財産の取得について議決

※町が取得する財産が別に定める基準額以上の場合、地方自治法により議会の議決が必要

## ▼町道の認定

二風谷菅野線を認定

## ▼一般会計補正予算（第1号）

地域おこし協力隊（インターン）報償費（追加）、定額減税調整

給付金ほか2件の給付金システム改修委託料、ふるさとものづくり支援事業補助金ほか

2288万3千円を追加

## ▼工事請負契約の締結

次の2件の工事について議決

## ▼貫気別小学校暖房改修工事（貫気別91番地6）

契約者：㈱小林組

契約金額：6380万円

平取町簡易水道本町地区緑ヶ丘

## ▼送水ポンプ場更新工事（本町116番地4）

契約者：㈱五十嵐工業

契約金額：5274万5千円

## ▼専決処分報告

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

## ▼平取町税条例の一部改正

意見書案の提出

2件の意見書案を提出、可決し、関係行政省庁へ送付しました。

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【提出者：松澤議員】

○生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書

【提出者：松澤議員】

▼連合北海道平取地区連合会より

提出された陳情4件について、

各常任委員会へ付託しました。

第4回  
臨時会令和6年  
7月4日

## ▼町長就任の宣誓

自治基本条例に基づき、7月3日

に就任した遠藤町長が就任の宣誓

を行いました。

## ▼町長の所信表明

遠藤町長が所信表明を行いました。

## ▼副町長の選任

佐藤和三氏の選任に同意しました。

## ▼意見書案の提出

第3回定例会で各常任委員会に付

託された意見書案の提出を求める

陳情は、4件とも採択とする報告

であり、これを元に次の意見書案

を提出、可決し、関係行政省庁へ

送付しました。

○地方財政の充実・強化に関する意見書

【提出者：井澤議員】

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

【提出者：井澤議員】

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直し

すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

【提出者：井澤議員】

○2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

【提出者：中川議員】

【提出者：中川議員】

【提出者：中川議員】

【提出者：中川議員】

【提出者：中川議員】

【提出者：中川議員】



▷自治基本条例に基づき就任時の宣誓、所信表明を行う遠藤町長

～あの人に聞く～

# 国立公園に指定された区域内にある

ポロシリ

## 幌尻岳についてお2人にお聞きしました



一般社団法人  
平取町山岳会 会長  
山木 正生 さん

問) 登山を本格的に始めたのはいつですか。

答) 30歳くらいの時、以前の振内交通社長の松島さんから幌尻登山の誘いを受けてです。

問) 幌尻岳の魅力とは何ですか。

答) 百名山唯一の本格的な渡渉登山ルート、幌尻カールや七つ沼は勿論のこと、山頂から見る日高山脈の広大な絶景です。

問) 国立公園幌尻岳登山の課題は何ですか。

答) シャトルバスが運行する糠平林道と、第2ゲートから取水口までの林道整備が必要です。後は築年数約60年が経過する幌尻山荘の別棟新築が急がれる課題だと思います。

問) 幌尻岳登山の安全確保についてどのように考えますか。

答) 詳細な気象情報の共有が不可欠です。また、日高山脈全域と幌尻岳はヒグマの代表的な生息地域であり、猟友会幌尻分区と連携を強化しながら、ヒグマスプレーの持参や遭遇した時の対処方法等のレクチャーが必要と考えます。

問) 藤江さんの、昨年度の有害駆除頭数はどれくらいですか。

答) エゾシカ140頭とヒグマが10頭です。

問) 国立公園の指定に伴い観光客や登山者が増えると思いますが、ヒグマとの遭遇や安全対策についてどの様に考えますか。

答) 平取町山岳会と連絡・連携を強化して、ヒグマ目撃情報に基づいたパトロールの実施や、登山者への詳細な情報提供が必要だと思います。

問) 猟友会幌尻分区としての今後の課題は何ですか。

答) 若手ハンターの育成、免許取得に費用と時間がかかり過ぎる事、銃の維持費や銃弾価格の高騰、要請パトロール時の補助金の値上げ等々、課題は沢山ありますが、国レベルでの交付金や補助金の増額が必要になると思います。



北海道猟友会  
沙流川支部幌尻分区  
藤江 一博 さん

## ▼ 議会の仕組み ▼

～議会について理解を深め、関心を持ってもらうために～④

前回は「議会にはどんな委員会があるか」についてお知らせしました。今号からは各委員会の役割等についてお知らせしていきます。はじめに…

ホームページもご覧ください。

### 議会運営委員会 (役割は地方自治法に定められています。)

議会をスムーズに、効率的に運営するために置かれる委員会です。また、議会運営の責任者である議長が議会運営委員会に意見を求めること(議長の諮問)もあります。

\*委員になる者や委員長、副委員長の選び方には決まりがあり、それらに基づいて決めています。

**平取町議会の運営に関する基準**：議会運営委員会の構成は、副議長、各常任委員長及び一般議員とする。(5名で構成)

**平取町議会委員会条例**：常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会に、委員長及び副委員長を1人置く。委員長及び副委員長は、委員会において互選する。